

No.64
2018
10/29



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



八地申 第5号

第1項～5項目まで終了

「吉祥寺駅の駅業務委託及び旅行業移管に関する説明申し入れ」 第1回説明交渉を行う

10月29日、第1回交渉を行い、9項目中、5項目まで終了しました。

第1項 駅業務委託、旅行業移管を行う目的と根拠を明らかにすること。

- 本体として運営する駅は常時運転取扱いのある駅16駅+輸送の要である駅1駅である。
- 吉祥寺に関しては常時運転業務のない駅として、JR東日本ステーションサービス(以下JESS)は2013年より駅業務専門会社として力をつけてきており委託可能と判断した。
- エルダール雇用の場の確保の観点からは、本体で助役職を担っている社員のエルダール雇用の場としても大切である。
- JESSのプロパー社員も入社し、JESSとして研修など実施し社員の力もついてきていると考えている。
- 安全は全てにおいて大前提である、安全と人にしか出来ない業務は変わってはいけないものである。
- びゅうプラザをびゅうトラベルサービス(以下VTS)への移管は顧客の利用状況、社会状況の変化があり委託することとした。

第2項 吉祥寺駅の現在と施策実施後の体制を明らかにすること。

○現行の駅体制

「営業」駅長1名、副駅長1名、助役5名、営業32名(出・改札、内勤、サーマネ、GS2名)※標準数28名
「びゅう」助役1名、営業9名(内GS2名)

○委託・移管後の体制 ※基本的にグループ会社が決定することとなる。

- 現行の安全・サービスレベルを低下させなく吉祥寺駅の規模に相応しい体制、地域の顔として「駅長」の業務委託、泊り勤務の「駅務責任者」を配置する。
- VTSに関しては、収益事業であり必要な体制を検討している。

第3項 「NF2008における今後の駅のあり方」について新販売拠点としてきた成果と課題を明らかにすること。

- 急いで切符を買いたい人、ゆっくり買いたい人がいた。顧客のニーズに合わせた販売拠点で対応出来たことは成果である。当時はお待たせしない対応が出来た。
- 現在は、えきねっとなどのシステムツールによる予約販売が飛躍的に伸びている、窓口にて列が出来てしまうなど、対応しきれない状況も多々あったことは反省すべきことである。
- 顧客に新しい券売機やツールの多くを知ってもらう必要がある。
- 業務委託・移管し安全とサービスのレベルが下がることは起こしてはならない。10年間積み上げてきたものを活かしていきたい。

第4項 レイアウト変更や現金管理器、バックヤード整備について明らかにすること。

- JESSとVTSを仕切る壁を設置し、鍵管理はVTSが行う。
- 休養室 現在 男性10部屋 / 女性4部屋 ⇒ 変更 男性7部屋 / 女性6部屋に変更する。
- 浴室は男性2、女性3のユニットバスである。今後増設の考えはない。
- トイレ、会議室、更衣室は共用で使用する考えである。 • 休憩室、倉庫、喫煙室については別々に設ける。
- 現金取扱い上、入出金機は双方分けて設置していく。

第5項 施策実施に伴う出向や異動の考え方について明らかにすること。

- 全ての人が入れ替わってしまうと安全、サービスが維持できない為に、技術指導や他の会社も経験し視野を広げてもらうために、一定程度の出向は協約や就業規則に則り実施していく。
- JESSからは10月より、VTSからは11月より吉祥寺駅で実習を行う。

次回交渉は10/31 13:30より行います

安全とサービスレベルを低下させず働きやすい営業職場を創り上げよう